

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
理学療法評価学	PSP22-003	必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
元山 美緒 他	D320	mio.motoyama		水曜日 10:40-12:10	
授業の目的・概要	理学療法評価は、患者の持つ症状や障害を評価してそれらの情報を分析し、治療方針を立案するために重要である。身体機能に関する障害を把握する上で、関節可動域、筋力、身体計測に関する評価が重要となる。本授業では、理学療法評価の意義と目的を理解し、各種理学療法評価法の知識を習得することを目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input checked="" type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	解剖学や運動学、生理学で学んだ知識を応用し、理学療法評価法と関連させて考えると良い。またこの授業では理学療法評価方法に関する実技を中心に行う。実技等に関してわからないことは積極的に質問することが望ましい。				
教科書	理学療法評価学 第6版 著：松澤正 他 金原出版 新徒手筋力検査法 第10版 著：Hislop HJ 他 訳：津山直一 協同医書出版社				
参考書	ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版 著：田崎義昭 他 南山堂				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	理学療法評価の意義、目的について説明できる。			RH (2) ~ (5)	
②	理学療法評価の方法について理解し、説明できる。			RH (2) ~ (5)	
③	理学療法評価と解剖学・運動学・生理学との関連について説明できる。			RH (2) ~ (5)	
④	理学療法評価に関する検査方法について、実践できる。			RH (2) ~ (5)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等		授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)	
1	一般的評価事項、バイタルサイン、問診について学習する。	[担当] 元山、福田	講義・実技	一般評価、バイタルサイン、問診について予習復習をする。	1
2	形態測定について学習する。	[担当] 元山、福田	講義・実技	形態測定の方法について予習復習をする。	1
3	関節可動域測定 (上肢) について学習する。	[担当] 元山、福田	講義・実技	関節可動域測定 (上肢) の方法について予習復習をする。	1
4	関節可動域測定 (上肢) について学習する。	[担当] 元山、福田	講義・実技	関節可動域測定 (上肢) の方法について予習復習をする。	1
5	関節可動域測定 (上肢・下肢) について学習する。	[担当] 元山、福田	講義・実技	関節可動域測定 (下肢) の方法について予習復習をする。	1
6	関節可動域測定 (下肢) について学習する。	[担当] 元山、福田	講義・実技	関節可動域測定 (下肢) の方法について予習復習をする。	1
7	関節可動域測定 (下肢) について学習する。	[担当] 元山、福田	講義・実技	関節可動域測定 (下肢) の方法について予習復習をする。	1
8	バイタルサイン、形態測定、関節可動域の実技確認を行う。	[担当] 元山、源 福田	講義・実技	バイタルサイン、形態測定、関節可動域の実技確認を行う。	1
9	徒手筋力検査 (上肢) について学習する。	[担当] 元山、源	講義・実技	徒手筋力検査 (上肢) の方法について予習復習をする。	1
10	徒手筋力検査 (上肢) について学習する。	[担当] 元山、源	講義・実技	徒手筋力検査 (上肢) の方法について予習復習をする。	1
11	徒手筋力検査 (上肢) について学習する。	[担当] 元山、源	講義・実技	徒手筋力検査 (上肢) の方法について予習復習をする。	1
12	徒手筋力検査 (下肢) について学習する。	[担当] 元山、源	講義・実技	徒手筋力検査 (下肢) の方法について予習復習をする。	1
13	徒手筋力検査 (下肢) について学習する。	[担当] 元山、源	講義・実技	徒手筋力検査 (下肢) の方法について予習復習をする。	1
14	徒手筋力検査 (下肢) について学習する。	[担当] 元山、源	講義・実技	徒手筋力検査 (下肢) の方法について予習復習をする。	1

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

15	徒手筋力検査の実技確認を行う。	[担当] 元山、源、福田	講義・実技	授業で実施した検査方法について、実技の確認試験を行う。	1		
試	筆記試験						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	0	0	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	60	0	0	0	10	70
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	5	5
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験により、達成度評価を行う。			試験結果の返却または開示を行う	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	授業内で行った実技の確認試験により、理学療法評価に関連する実技の習熟状況について達成度評価を行う。			試験後に点数および講評についてフィードバックする	
	②	✓					
	③						
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	源 裕 介、福 田 京 佑						
教員の実務経験	回復期病院にて亜急性～回復期の呼吸器、循環器、脳血管疾患を担当。急性期病院では整形外科疾患、消化器外科疾患、脳血管疾患、呼吸器・循環器疾患を担当。						
実践的授業の内容	臨床現場で使用する機会の多い評価方法について実技を中心に教示するとともに、実際の症例に基づいた評価方法の工夫点なども加えた実践的な指導を行う。 *実技を実施する際は、動きやすい服装で参加すること。華美な服装や実技に適していない服装は注意を行う。						
そ の 他	授業態度：授業中の私語は禁止とする。口頭注意により授業態度が改善しない場合、退室を命じることがある。 感染対策：本授業では大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を厳守する。						